

最新技術導入を支援、補正予算で国の支援が拡大

唐沢農機サービス通信

1月号
2026年



畑作産地形成に135億円

生産性向上のチャンス

農林水産省は、令和7年度補正予算において、「畑作物産地形成促進事業」に135億円を計上しました。これは、食料安全保障の強化と、高まる国産作物需要に応えるため、現場の生産性を大きく引き上げる技術導入を支援するものです。

特に輸入依存度の高い麦、大豆、そして国産飼料として注目される子実用トウモロコシなどの畑作物の生産地形成を図るため、実需者（食品メーカーなど）と連携した取り組みを行う農業者を支援します。



機械・技術の導入支援を強化

本事業の最大のポイントは、単なる補助金としてではなく、産地の生産性向上に直結する機械や技術の導入が具体的に支援対象となる点です。主な支援対象となる取り組みと技術は、大きく二つに分かれます。

一つは畑作物の導入・定着に必須の基盤整備です。具体的には湿害対策に不可欠な排水対策（暗渠）、土壌の質を改善し安定収量を確保するための土層改良（客土）、そして作業効率を向上させる傾斜均平関連機械の導入などが含まれます。

もう一つは実需者ニーズに応える生産性向上技術です。これには精密農業による省力化・効率化を実現するドローンなどスマート農業機器の活用、栽培技術の改善による高収量化を目指す大豆300A技術（不耕起播種栽培など）、さらには科学的根拠に基づく適切な施肥管理を行うための土壌診断に基づく土づくりがあげられています。

これらの取り組みは、すべて実需者と産地が協力して策定する「産地・実需協働プラン」に参画した農業者が対象となり、取り組み面積に応じて10ア当たり4万円が交付されます。

当店がお手伝いできること

農家の高齢化や人手不足、そして生産資材価格の高止まりが続く今、生産性を上げるための機械化投資は急務です。

トラクター作業機へのニーズは、高速化、大型化といった高性能化に加え、新たな国産飼料としてのトウモロコシ対応機種や、水稲の低コスト化技術である乾田直播対応機種への関心も高まっています。

本事業を活用するにあたり、上記のような排水対策機械、均平化機械、そしてスマート農業に対応した高性能トラクター作業機の導入が鍵となります。

事業の要件に合致する機械のご提案は、専門スタッフがお手伝いさせていただきます。その後のメンテナンス体制も整えておりますので、ぜひ当店までお気軽にお寄せください。

軽トラック・軽バン販売中！

軽トラック・軽バンなど、仕事に活躍する車両を中心に自動車を販売しています。
在庫車両はカーセンサー・グーネットにて掲載中です。
写真や価格、装備の詳細もご確認いただけます。
新車の取り扱いもございますので、お気軽にお問い合わせください。



カーセンサー



グーネット



AIと即時分析が

土壌診断を一変

国際農研（国際農林水産業研究センター）は、AIを活用した新しい土壌診断技術を開発しました。

この技術は、誘導結合プラズマ発光分光分析（ICP-AES）から得られる全波長スペクトルデータを利用し、AIが解析することで、主成分（肥料成分）から物理性まで12項目もの土壌特性を同時に、かつ高精度で推定できる次世代型技術です。従来の分析委託で課題となっていた時間とコストを大幅に削減し、迅速な結果提供が可能となります。これは肥料設計や圃場管理の迅速化、薬品使用削減による環境負荷低減に大きく資するもので、国内外での活用が期待されています。

現場の課題を解決する

「即時分析」装置

当社では、エア・ウォーター・バイオデザイン株式会社製の土壌分析装置「EW-THAI」の効果を体験しました。

この装置は、従来の分析機関への委託で課題となっていた「分析時間のタイムラグ」を現場で解決することを目指しています。



この装置の特長は、まず迅速性にあります。主要な肥料成分である窒素、リン酸、カリウムにカルシウムとマグネシウムを加えた計6成分を、わずか約14分で同時測定できます。これにより、繁忙期に数週間かかっていた分析結果が即座に手に入るようになります。また、操作性も追求されており、独自のカートリッジシステムと光センシング技術を採用しているため、煩雑な試薬調合や成分ごとの抽出作業が不要です。ろ過した土壌液を装置にセットするだけで誰でも簡単に扱えます。さらに、測定結果に基づき最適な肥料の種類と量を提案する処方箋機能（レポート作成機能）を搭載しており、経験や勘に頼ることなく、データに基づいた施肥設計を強力に支援します。



（引用：株式会社藤原製作所HP）

データ活用時代へ

国際農研のAI技術が土壌診断の可能性を大きく広げる一方、現場型の迅速分析装置は、その「結果をタイムリーに施肥設計へ活かす」という実用面を担います。

これら「研究」と「現場」の技術が両輪となることで、これまでの「勘と経験」による営農を、確かなデータに基づいた「高精度かつ効率的な農業」へと進化させます。

使わなくなった農機

お家に眠っていませんか？

まだ使える、処分に費用がかかり
そんな農機具を無料で査定！

【査定方法】

- 左のQRコードから唐沢農機サービスをお友だちに追加
- LINEから機械の写真やメーカー、型式を送るだけでOKです。

お問い合わせは24時間受付中。
まずはお気軽にご相談ください。

お得な情報も
配信中！



編集後記

今月号では、135億円規模の畑作産地形成促進事業と、AIによる次世代土壌診断技術を紹介しました。国の支援と新技術を活かしたスマート農業で、収量安定と品質向上を安全面からも全力で支援してまいります。

「発行：唐沢農機サービス」

アグリショップ唐沢農機サービス
〒 389-0518 長野県東御市本海野1642
TEL 0268-62-5262
FAX 0268-63-7085
<https://www.karasawanouki.co.jp>